

時代の節目に、号外で本紙を包む特別な紙面 新元号発表翌日朝刊・ラッピング特集

2019年4月1日午前11時41分、「平成」に代わる新元号を「令和(れいわ)」とすることが政府より発表されました。皇位継承前の新元号公表は憲政史上初めてとあり、日本中が新たな元号に注目していました。中日新聞は同日午後より、東海地方の街頭などで新元号発表を告げる号外を配布。大勢の人が手を伸ばして殺到し、あっと言う間に配り終えてしまうほどの反響でした。

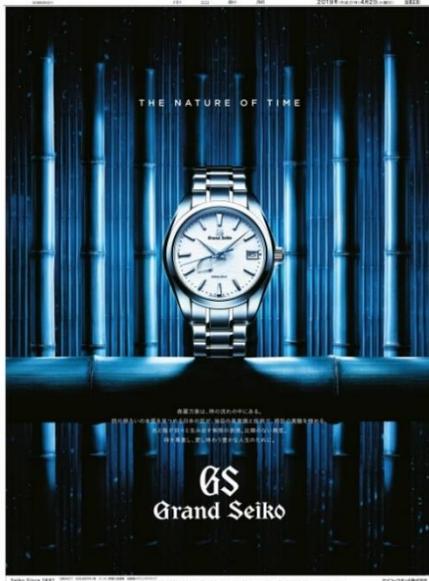
翌2日付の朝刊は特別な紙面構成とし、号外で本紙を包むラッピング特集として発行。「手に取って驚いた」「号外を取りに行けなかったので、嬉しい」という読者の声もありました。号外紙面は4ページ構成で、1面では記者会見で伝えられた新元号の出典などを記事化。2面から3面は「号外で振り返る平成」と題し、平成の30年に発行された新聞号外を特集しました。終面では、これまで多くの時を刻み、新しい時代も『人々とともに時を刻み続けたい』というメッセージが込められた、セイコーウォッチ株式会社の広告原稿を掲載しました。

248番目の元号となる「令和」は、皇太子さまが新天皇に即位される5月1日に施行されます。まもなく訪れる「平成」の終わりと「令和」の幕開け。中日新聞グループではさまざまな特集を実施していきます。

中日新聞広告局



▲4月2日付中日新聞朝刊・ラッピング紙面1P



▲4月2日付中日新聞朝刊・ラッピング紙面4P



▲4月2日付中日新聞朝刊・ラッピング紙面2P-3P

■ 特集を見た読者の声 (「J-MONITOR」より自由回答・抜粋)

- ・タイムリーで大変興味が感じられた。(男性30代)
- ・驚いた。貴重な特集なので保存しておこうと思っている。(男性60代)
- ・号外はもらえないと思っていたが、新聞のポストを開けて、包まれていて驚いた。嬉しかった。広告も品が良く、センスが良かった。中身も今までの主な号外が載っていて宝物にしようと思う。(女性50代)
- ・号外を手にとることができて、嬉しかった。平成の時を振り返る内容に国産時計の全面広告という組み合わせもセンスがあり、大変好感を持った。(女性50代)
- ・この位置に出される広告は注目されるだけでなく、付加価値が高まると思う。プレミアム感が高まる。(女性60代)

■ SNSに画像付きで投稿する人も

今日の日新聞の朝刊。昨日東海地方で配布された号外に朝刊を挟み込んで各戸に配布した様な計らいに感謝。



■ 4月2日、読者に配布された朝刊

